

令和8年度 重点目標（浜田水産高等学校）

1) 「わかる・できる」を実感できる学びの推進

- ① わかりやすく、きめ細やかな授業を実践し、基礎学力の定着および学力の向上を図る。
- ② 「わかる・できる」を支える主体的な家庭学習習慣の育成

2) 社会人として必要な資質の育成と基本的生活習慣の確立

- ① 身だしなみ、時間を守る、場に相応しい行動など、ルール、マナーを守る態度を育成する。
- ② あいさつ、返事を大切にし、コミュニケーション能力の育成を図る。
- ③ 生徒の自己理解の促進と自己有用感の育成を図り、前向きな学校生活に繋げる。
- ④ 互いを思いやり、他者と良好な人間関係を構築しようとする態度を育成する。

3) 望ましい勤労観および将来を見据えた実力の育成と進路指導の充実

- ① 将来の進路を見据えた資格取得へ向けて、情報の提供や指導体制を充実させ、結果に繋げる。
- ② 生徒・保護者への時宜を得た進路情報を提供し、早期の進路目標設定を支援する。
- ③ 生徒の個性や適性、能力に応じた計画的なキャリア教育を推進する。

4) 人権教育、道徳教育、特別支援教育を根底に据えた教育活動の推進

- ① あらゆる教育活動を通して、人権を尊重し、共に生きる力の育成を図る
- ② 校内の支援体制を活かし、個に応じた支援の充実を図る。

5) 水産・海洋教育を担う学校として、地域と共に活力ある学校づくりの推進

- ① 魅力ある教育活動を積極的に情報発信し、生徒募集に努める。
- ② コンソーシアム、学校運営協議会と連携をし、地域との繋がりをよりいっそう深め、開かれた学校づくりを推進する。

6) 新しい時代に対応した取り組みの展開

- ① 保護者連絡のデジタル化の確立
- ② 教職員の ICT スキルのさらなる向上を図り、より一層授業改善や業務改善に繋げる。
- ③ ホームページの再構築と SNS を利用した情報発信に取り組む。
- ④ DX ハイスクール事業を活用した、学びの変革
- ⑤ 新しい時代に対応した学科のあり方の検討を進める。
- ⑥ 教職員のワークライフバランスの確保に向けた業務改善の推進